

教師が中立を保つのは難しくない

～政治教育と教師の政治的中立について～

能力開発工学センター
榎 正昭

教師が中立を保つのは難しくない。
たとえば、いま問題の「安保法制」について。
まず生徒に情報を集めさせる。
事実は何か、問題のポイントはどこかを整理させる。
その上で各自の意見をまとめさせ、発表させる。
討議させ、考えさせる。

教師は決して教えない。
調べ方、まとめ方、討議の仕方をアドバイスするだけでよい。
生徒が迷っていたら、一緒に考える。
生徒がいい加減な結論を出したら、
「それで本当にいいのかな？」
「他の考え方はないのかな？」
と質問し、もう一度調べさせたり、考えさせればよい。

教師は中立を保たなければならないが、
「中立とはどういうことか？」については
生徒と一緒に具体的に考える。

結論は、実はどうでも良い。
生徒一人一人が、そこまでのプロセスを経験することで、
政治に対する分析力、判断力が、必ず育つからである。

2015. 11